

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

事例3. 広島県府中市 小学生による発表大会

- **小学生による発表大会**では、手書きのはがきと塩タブレットを一緒にして配布し、孫世代による地域密着型の情報発信を実施。
- **老人大学**(高齢者が自らの生きがいを求めて学習することにより充実した生活を送るとともに、地域のリーダーとして積極的に社会参加をしていくことを目指す)において、生活習慣病の予防も意識した、高齢者でも無理なく取り組める地元のエクササイズを紹介。“座学”ばかりでなく参加者全員で身体を一緒に動かす時間も設けている【👉 **事例3-8**】。



▲小学生による発表大会



▲手書きのはがきと塩タブレット



▲老人大学での普及啓発講座の様子

■工夫した点

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪で取組みを進める**コミュニティスクール**の一環として、小学生が熱中症を学び(大塚製薬(株)が講師として協力)、自らが対策を考えて発表する場として、市内4小学校で地域の高齢者や保護者を招いた発表大会を実施し、熱中症対策の必要性を発信した。